



大樹のこころ

能登半島地震

能登半島地震の被災が深刻なものとなってきています。令和6年の1月1日に発生したこともさることながら、テレビ番組が緊急放送になり、アナウンサーが必死で避難を呼びかけるシーンが衝撃を与えました。東日本大震災を経験したことのない子供たちにとって、大きな驚きとなったことでしょう。「地震の本当の怖さ」を知る機会になったのではないのでしょうか。

少し前になりますが、1月12日(金)に清掃時避難訓練が実施されました。清掃の時間に突発的な避難放送を入れて行う訓練です。「地震発生」との訓練放送に子供たちは、退避行動をとります。掃除の時間ですので、教室にいただけではありません。ですから「自分の判断」で行動することが求められます。退避の様子を見ていると、どの子もきちんとできていました。さらに「避難せよ」との放送指示によって、全校児童が運動場へと動き出します。1年生の教室には、6年生が清掃補助でいてくれるのですが、6年生が1年生を守って避難する姿が見られました。これに感激。清掃場所からの避難ということで、教師による引率がありません。にもかかわらず子供たちは、私語もなく避難行動をとることができました。人員点呼における先生方のきびきびとした姿は真剣そのものです。自分が本校に赴任して「過去最高」の避難訓練となりました。能登半島地震を経験して、「命を守る」ことへの意識が高まってきているのでしょうか。素晴らしい避難訓練となりました。

またこの地震について、本校では一つの活動が始まりました。代表委員会と生活委員会による「募金活動」です。募金は各自治体やマスコミなどでも行っていますが、学校の子供たちが主体となって行うことに価値があります。委員会で昼の放送や募金のおたよりを通して、全校の子供たちに呼びかけていきました。

先週から朝の時間に、代表委員と生活委員が各教室を周り、募金を集めて回る活動が始まりました。多くの子が募金を手にして、委員会の子供たちの前に列を作ります。この様子に、ちょっとした感動を抱きました。そして本日の委員会の時間に募金額の集計が行われました。募金を見ると硬貨に交じって1万円札もあり、大樹寺学区の「善意」の素晴らしさを感じました。募金額の総計は何と16万7796円になりました。とても大きな金額に子供たちもびっくりです。

大樹寺小のみんなの心が被災地の皆さんに届き、1日も早い復興を願わざるを得ません。今回の募金に協力してくださった保護者の方々や児童のみんなに感謝します。

